

WES 通信

4

2019
April
300円

新学年への
スタートダッシュ！

成績がいい子がやっている

効率爆上げ **秘** 勉強法を大・公・開！

新年度、
始動！

2019年度 高校入試結果報告！

塾長コラム～英語の身近さ～

勉強のやり方講座

成績が上がる秘訣！

G・W 特訓実施！

中学生・小学生 春期講習終了！

高校部 「大学生に聞いてみた！」

2019年度 入試結果報告

◎ 公立高校は人気校に受験生が集中！！

今年度の公立高校入試(2019.3.11 実施)は、近年の傾向そのままに、人気校に志願者が集中し、高校間の倍率格差が大きく出ました。なかでも、文理学科設置10校においては、昨年度に比べて、茨木高校、岸和田高校を除く8校で倍率が上がり、文理学科全体では1.34倍の高倍率となりました。(昨年度1.30倍)



当塾の生徒が受験した高校では、三国丘高校の1.58倍(昨年度1.52倍)をはじめ、泉北高校1.43倍(同1.33倍)、生野高校1.37倍(同1.27倍)、鳳高校1.31倍(同1.21倍)などが高倍率になり、受験生にとっては厳しい入試となりました。しかし一方で、泉陽高校が1.24倍(一昨年度1.58倍、昨年度1.28倍)で、2年連続の倍率低下は予想外のものでした。

◎ 文理学科に2名が合格！！

当塾からは2名の生徒が文理学科に合格。
また、難関の泉陽高校も2名受験し、2名とも合格を勝ち取ってくれました。



毎年のことですが、公立入試は厳しい受験になっています。学力はもちろんですが、公立入試において大きな威力を発揮するのが内申書です。割合は少ないとはいえ、中1・中2の成績も内申点に入ります。それらが合否を大きく左右することも珍しくないのです。在塾生の皆さんはこのことをしっかり心に刻んで、まずは中学校の授業をしっかり聞きましょう。普段の勉強を決しておろそかにすることなく、いずれやってくる受験に備えてください。

次のページに今年度の当塾の入試実績を掲載します。
(合格者氏名は塾内に掲示しています。)

2019年度高校入試 合格速報！！(最終)

【公立高校】		
《高校名》	《学科名》	《合格者数》
●生野高校	文理学科	2名
●泉陽高校	普通科	2名
●今宮高校	総合学科	1名
●泉北高校	国際文化	1名
●市岡高校	普通科単位制	1名
●登美丘高校	普通科	1名
●久米田高校	普通科	1名
●大阪市立西高校	英語科	1名
●東住吉高校	芸能文化科	1名
●阪南高校	普通科	3名
●安芸府中高校	普通科	1名
●東百舌鳥高校	普通科	1名
●泉大津高校	普通科	1名
●信太高校	普通科	1名

【私立高校】					
《高校名》	《コース名》	《合格者数》	《高校名》	《コース名》	《合格者数》
●清教学園	S特進理系	1名	●東大谷	進学	2名
●桃山学院	英 数	1名	●阪南大	文理特進Ⅱ類	3名
	文 理	2名		総合進学	2名
	国際B	1名	●羽衣学園	進学	1名
●帝塚山泉ヶ丘	S特進	2名	●近大泉州	進学Ⅱ類	1名
●浪速	I 類	4名	●清明学院	文系特進	1名
●広島国際学院	進学コースⅠ型	1名		進学	2名
●上宮	プレップ	1名	●大体大浪商	進学スポーツ	1名
●プール学院	特 進	1名	●興国	進学アカデミア	1名
●大阪学芸	特 進	2名	●大阪借星学園	進路探求	1名
	特進看護	1名	●金光藤蔭	ライフクリエイティブ	1名
	進 学	1名			

※ 合格者氏名は塾内に掲示しています。 すべて当塾の通常授業受講生のみの実績です。

塾長コラム

～英語の身近さ～

先日、久しぶりに難波へ行ってきました。

難波駅を通過したことはあっても、駅を降りて街中を散策したのは数年ぶり。町全体が大きく変わっていました。

難波駅前の「高島屋」からマルイを横目に見ながら戎橋筋を歩いて、心齋橋あたりまで散策。途中、法善寺横丁や千日前通りにまで足をのびしました。



そこで感じたことは、あまりの外国人の多さ。テレビや新聞など様々なメディアを通して少しはわかっていたのですが、これほどまでに多くなっていることには“驚き”を乗り越え、まさに“衝撃”でした。



街中を英語、中国語、韓国語の案内放送が流れ、すべてのお店が外国人でにぎわっているのです。自分があたかも外国にいるような錯覚と、もしかしたら自分が外国人なのかと疑ってしまうような妙な感覚にとらわれてしまいました。

そして、次の驚きが外国人への店員さんの対応です。ドラッグストアや大型の電気店では、「中国語」や「韓国語」にまで対応していたものの、

ほとんどのお店では外国人に対して「英語」のみで対応していたのです。

西洋人はもちろん中国人や韓国人、東南アジア系やイスラム系の人々にまですべて英語。

極めつけは夕食のために入った串カツ屋。難波にありながら少々小汚い店づくりの、「庶民の味方」とでもいうべき昔ながらのお店に入った時です。そこでも当たり前のように多くの外国人が食事を楽しんでいました。そこに、50歳ぐらいの店員さんが、そのすべての外国人に流ちょうな英語で注文を取り付けていたのです。

「英語ができなければ難波でお店はできないでしょ！」と言わんばかりに...



「英語を普通に使わなければならない時代が来る」

とは私が学生時代であった数十年前に、学校の先生方から聞かされていた言葉。

まさにそのことが目の前で起こっているのです。

英語はできて当たり前。英語ができることは特技でもなんでもなく、

生きていくために必須の言語である時代が本当に目の前に来ているのです！

来年は東京オリンピック、そして2025年には大阪で万博が開催されます。国を挙げて英語教育の必要性を訴えている理由をあらためて実感しました。

勉強のやり方講座！ 開催しました！

2019年3月28日(木)

春期講習期間の3月28日(木)に、サンスクエア堺第5会議室にて、中学生を対象とした「勉強のやり方講座」を開催しました。ほとんどすべての生徒が参加してくれましたね。普段の教室とは違う場所で行われましたので、新鮮な気持ちで聞けたのではないのでしょうか。さて、当日に出てきた「学力の公式」、覚えていますか？ ちょっと思い出してみてください。そう、「**学力=やる気×学習の質×学習の量**」でしたね。特別講師として遠路はるばる福島



県からお越しくくださった自立型個別指導塾「番匠塾」塾長番匠啓太先生からは、**やる気を高める様々な方法**を教えてくださいました。その中でも特に重要な「聞く力」を強めるための行動は3つありましたよね。しっかり思い出して、すぐに行動に移しましょうね。(「メモを取る!」「うなずく!」「好きになる!」ですよ!)

続いて塾長からは、**学習の質を高める8つの勉強法**がみなさんに伝授されました。こちらも今すぐ実行できるものばかりでしたよね。ちゃんと覚えていますか？ そして実行していますか？ ①「夜はできるだけ早く寝る!」 ②「学校の授業をしっかり受ける!」 ③「スマホを身の周りに置かない!」

④「暗記はテストをして確認!」 ⑤「問題集は何も見ずに解く!」 ⑥「間違いは解説を読んで直す!」

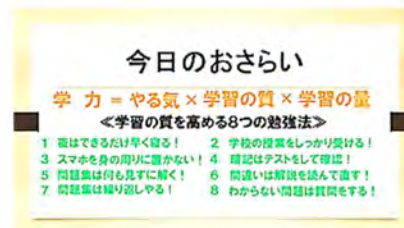
⑦「問題集は繰り返しやる!」 ⑧「わからない問題は質問をする!」ですよ!)

7ページにもこの日のお話を基にした「インプットとアウトプット」についての記事があります。

あわせて読んでさっそく行動に移し、ぐーんと

パワーアップして新年度を

スタートしましょうね!



学年末テスト成績優秀者発表

<成績優秀者>



学年末テスト

5科 450点以上…3人

483点 (S.Sさん) ・ 462点 (M.Tくん) ・ 454点 (S.Sさん)

5科 400点以上…17人

446点 (Y.Aさん) ・ 441点 (I.Mさん) ・ 436点 (F.Sくん)
436点 (M.Hくん) ・ 436点 (H.Kくん) ・ 434点 (T.Aさん)
432点 (Y.Yさん) ・ 431点 (I.Jさん) ・ 431点 (I.Mくん)
423点 (M.Kさん) ・ 421点 (M.Rさん) ・ 420点 (T.Nさん)
417点 (Y.Kさん) ・ 411点 (K.Sくん) ・ 411点 (O.Kくん)
408点 (S.Mさん) ・ 401点 (H.Tくん)

5科 30点以上アップ…9人

63点アップ (M.Hくん) ・ 60点アップ (S.Kくん) ・ 51点アップ (K.Sくん)
49点アップ (Y.Mさん) ・ 46点アップ (N.Mさん) ・ 38点アップ (H.Kくん)
37点アップ (S.Kくん) ・ 36点アップ (N.Mさん) ・ 32点アップ (Y.Yさん)

教科100点満点…2人

100点 (英語 S.Aさん) ・ 100点 (数学 Y.Yさん)



教科90点以上…42人



※ 成績優秀者の氏名や学年、学校名は、掲示板に掲示しています。

※ 紙面の都合上、掲載できなかった皆さんゴメンナサイ<m()m>

点数を上げる秘訣とは？

インプット・アウトプットの比率

学年末テストのぶっ期末の際に、ある調査をしました。毎回 400 点以上取る人たちがどのように勉強をしているかをインプットとアウトプットに注目して調べてみたのです。各生徒にその日の勉強内容のうち、覚えること(インプット)に何時間使ったのか、何も見ずに問題を解くこと(アウトプット)に何時間使ったのかを下のようなグラフにしてもらいました。

その結果、なんと、
インプットとアウトプットの比率が平均で
2 : 8 となったのです。

圧倒的にアウトプットの時間が多いです！

テスト直前にインプット量が少なく、アウ

トプット量が多いということは、いったいどういうことなのでしょう。実は、毎回 400 点以上取る人は、普段の学校の授業や塾の授業で、すでにインプットをほとんど完了させているのです。だから、テスト直前には問題を解いて、まだ覚え切れていないところを探し、そこだけを効率良く覚えることができるのです。

では、どうしたら普段の授業で習ったことを覚えることができるのでしょうか。

3月28日(木)に『勉強のやり方講座』でもお話した通り、「^{ききちから}聞き力」を身につけることが大切です。先生の話を中心して聞くためには「メモをとる」ことがオススメです。話を聞きながらメモをとると3つの効果が出てきます。

- ①「絶対に聞きもらさないぞ！」という意識が出てくる
- ②「その場で覚えるぞ！」という意識を持てる
- ③「書くスピード」が上がる！



同じ内容の授業を受けたとしても、実はメモをしている人としていない人では得られる情報量に差が出てくるのです。授業をただ聞くのではなく、こちらから情報を取りに行く姿勢があるとその場で覚えられることが増えていきます。

4月から新学年の授業が始まります。学校や塾の授業で「^{ききちから}聞き力」を意識して、授業内でインプットするように心がけてください。そして、「G.W特訓」や「ピカ中」で問題をたくさん解くことでアウトプットして、効率よく勉強していきましょう！

中学生のみなさん

G. W特訓実施

4月27日(土)～4月29日(月)

☆ G. W特訓、今年も実施します！

学校が始まるとすぐにやってくるのがゴールデン・ウィーク。

特に今年は4月27(土)～5月6日(月)の期間が10連休となります。

WILLではこの前半3日間を利用して恒例の「G. W特訓」を実施します。

☆ 「そもそもG. W特訓って何？」

去年までは数学・英語に特化した「1日12時間の長時間勉強会」を実施してきました。新学年になってから学んだ内容を中心に、ひたすら問題を解くんです。1学期の中間テスト範囲はその学年の最も基礎となる単元です。基礎となる単元は、その後に習う単元に大きく影響します。

つまり、その単元の内容がわからないと、さらに難しくなるその後の単元が全くできなくなってしまう、ということなんです。

数学・英語のみを実施してきたのは、特に基礎固めが大切な科目だったからなのです。

☆ 数学と英語だけでいいのだろうか・・・

「2科目だけでいいのだろうか」

「科目を増やしてはどうだろうか。」

こんな話が講師の間で出てきました。

そして今年・・・

科目を増やすことにしました。

全学年、「数学・英語・理科・社会」の4科目を実施します。



理科・社会に苦手意識が強い生徒も少なくありません。

このG. W特訓を利用して、その苦手意識を少しでもやわらげたり、「覚え方のコツ」を身につけておくと、今後必ず役に立ちます。

まずは1学期の中間テストに向けて、しっかり頑張りましょうね！

尚、G. W特訓の詳細は後日あらためてご連絡します。